医療用語の解説

〇心臓マッサージ
心臓が停止した時に、胸部を手で圧迫することで心臓から血液を全身に送り出します。
AED などの電気的除細動を行うこともあります。

〇気管内挿管
呼吸が停止した時に、口や鼻から気管支に管を入れ、呼吸ができる状態にします。

〇人工呼吸器
気管内挿管後に、人工的に機械で呼吸ができるように助けます。

〇中心静脈栄養
鎖骨の下や首の太い静脈から、管を心臓近くまで入れます。そこから高カロリーの栄養を入れることができ、食事が出来なくても長い間生命を維持することができます。

〇経鼻経管栄養
鼻から胃に管を入れて、栄養剤や水分を補給します。鼻やのどに違和感があり、苦痛を伴うことがあります。

〇胃ろう
胃カメラを使って、お腹の皮膚表面から胃に管を入れます。鼻やのどに違和感はありませんが、半年に１回程度、管の交換が必要です。

救急車を呼ぶということの意味

救急車を呼ぶということは、命を助けてほしいということ。
搬送された医療機関で、救命治療を行った結果、ご本人の望まない延命治療がなされる可能性があります。
かかりつけ医や訪問看護師などとよく話し合い、いざという時の対応を決めておくことが重要となります。



亀岡市では、医療・介護・福祉の専門職が集まり
市民のみなさまの想いを尊重するため
亀岡市版 ACP を作成しました。

亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議

R8年10月　第3版



もしもの時のために、あなた自身が望む医療やケアについて考えてみませんか。信頼する大切な人、医療・ケアチームといっしょに、元気な時から繰り返し話し合い、共有することを
「**アドバンス・ケア・プランニング（ACP）**」と言います。



亀岡市観光マスコットキャラクター
明　智　か　め　ま　る

今後体調や病状の変化、思わぬ事故に遭遇することがあるかもしれませんが、あらかじめ意思を示しておくことで自分が望む生き方ができ、自分の意思に反した不必要な治療を受けなくてもよくなります。
また、あなたの希望を伝えることができ、家族や周りの人の負担軽減にもつながります。

※「わたしの想い」は、法律的な効力はありません。
この「わたしの想い」は、気持ちの変化が起きた時に何度も書き換えることができます。

もしものときのために

ACP

アドバンス・ケア・プランニング

～ あなたの想いを
これからの医療・ケアに ～

自分らしい これからの人生のために

～ 話そう つなごう ～

1 大切にしたい想いについて考えましょう



- あなたにとって何が大切ですか?
- どこで誰と過ごしたい?
- あなたらしく生きるために何を優先しますか?

2 あなたの想いを伝えてくれる人を選びましょう



- 想いを話せる人 あなたの想いに寄り添ってくれる人は?
- 家族? 友人? 後見人?

3 考えたことを話し合いましょう



- どのような医療を受けたい?
- どのような療養をしたい?
- どのような人生を送りたい?

4 「わたしの想い」に書き留めましょう



- 家族や周りの人たちへの思いやりにつながります
- 自分の気持ちを書いておきましょう
- お薬手帳にはさんで記録として残しましょう